

会計名称	予算額	対前年度比
一般会計	128億0,000万0千円	△8.5%
特別会計	土地取得特別会計	3億2,175万0千円 △55.8%
	国民健康保険特別会計	34億8,051万0千円 1.1%
	介護保険特別会計	20億6,281万9千円 9.6%
	後期高齢者医療特別会計	2億9,181万2千円 8.0%
合計	189億5,689万1千円	△6.7%

平成25年度菊陽町予算(案)を3月5日開催の平成25年第1回菊陽町議会定例会へ上程しました。
 予算額は、一般会計が128億円で前年度比11億9,000万円減(△8.5%)、特別会計は61億5,689万1千円で前年度比1億6,657万3千円減(△2.6%)となりました。
 菊陽町の一般会計と特別会計の予算総額は189億5,689万1千円で前年度比13億5,657万3千円減(△6.7%)となりました。

「人・緑 未来輝く生活都市 きくよう」を目指して

平成25年度菊陽町予算(案)総額

189億5,689万1千円

一般会計歳入

歳入は、自主財源*の町税が法人税の税率引き下げや固定資産税の減などにより減少する見込みです。

また、国の緊急経済対策による平成24年度3月補正への事業の前倒しや中部小学校改築などの大規模事業が最終年度ということもあり、国庫支出金*や町債*などの依存財源*も減少する見込みです。

■自主財源
 自主財源は、前年度から7,714万9千円減の78億6,500万円と見込みました。歳入全体の61.4%となります。

■依存財源
 依存財源は、前年度から11億1,285万1千円減の49億3,500万円と見込みました。歳入全体の38.6%となります。町債は、前年度から12億2,320万円減の15億2,760万円となりました。

このうち、地方交付税*の財源不足額を借り入れる臨時財政対策債は4億8,600万円と見込んでいます。

(注)*印については、下記に用語の説明があります。

一般会計歳出

歳出は、性質別と目的別の経費についてご説明します。

性質別経費は、人件費や扶助費*などの義務的経費*として、48億2,022万2千円(前年度比7,314万円増)を計上しました。

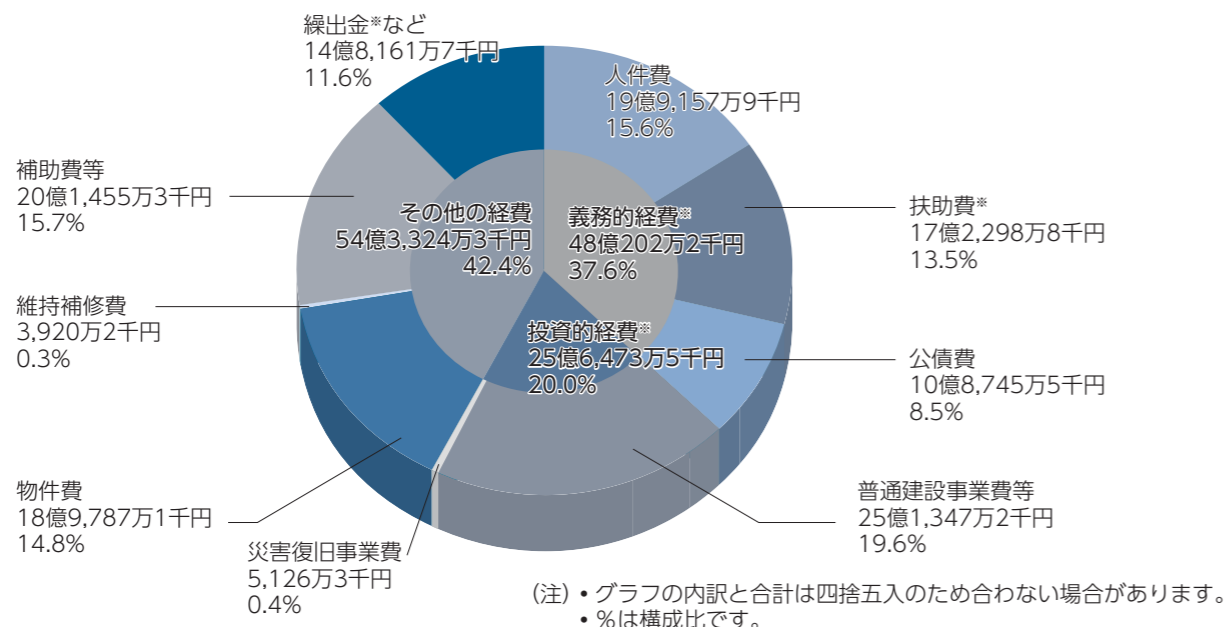
次に投資的経費*として25億6,473万5千円(前年度比15億1,058万円減)を計上しました。

投資的経費は、鼻ぐり井手公園拡張整備事業や菊陽中学校増築・改修事業、菊陽第二土地区画整理事業の増がある一方、24年度で菊陽西小学校の増築・改修事業が完了し、また国の緊急経済対策による事業の前倒しにより大きく減少しています。

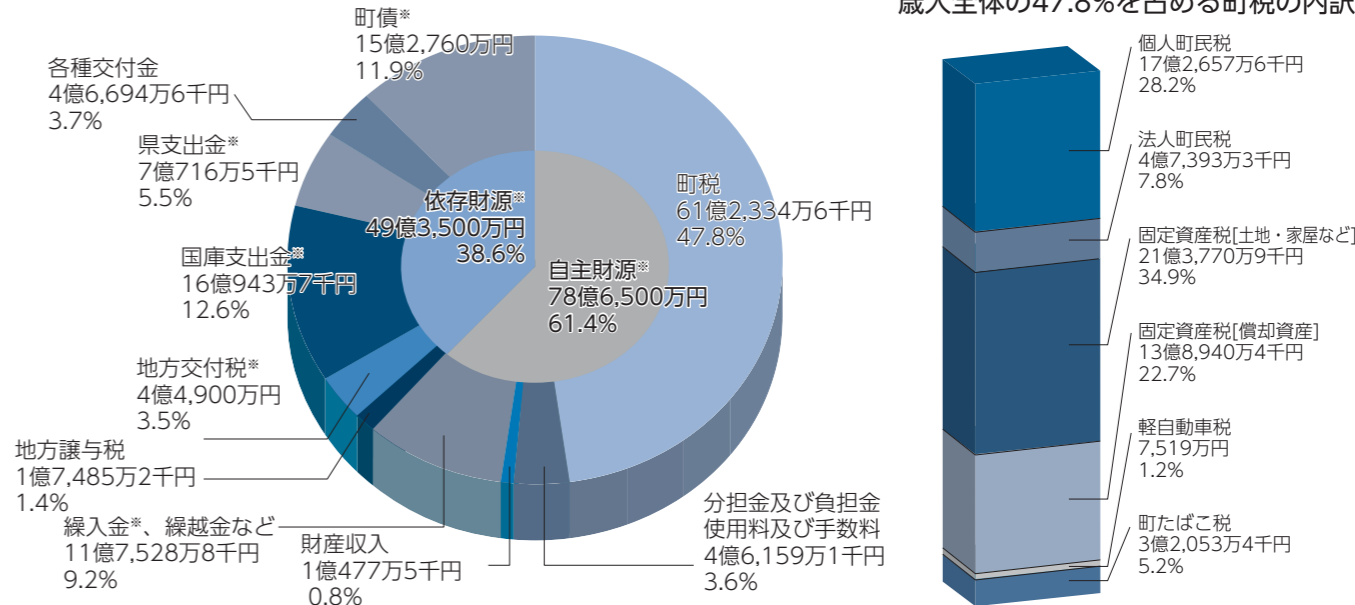
物件費や補助費等、繰出金*などのその他の経費は、54億3,324万3千円(前年度比2億4,744万円増)を計上しました。

また、目的別経費は次のページから掲載していますが、民生費・衛生費・農林水産業費・商工費については増、総務費・土木費・消防費・教育費については事業の完了や前倒しの影響で減となっています。

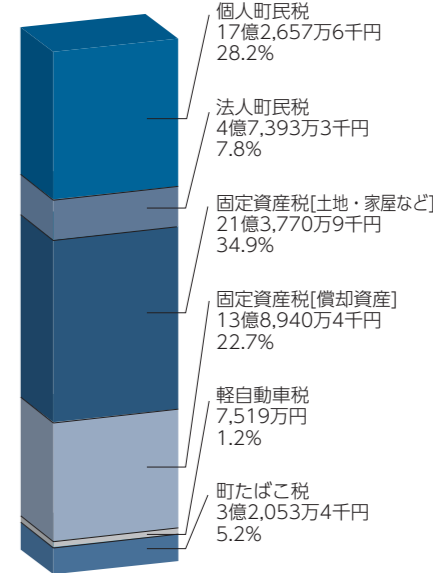
一般会計歳出 128億円



一般会計歳入 128億円



歳入全体の47.8%を占める町税の内訳



用語の説明

- ▼自主財源
 地方公共団体が自主的に調達できる財源のこと。自主財源が多いほど地方公共団体の行政活動の自主性と安定性が高いことになる。
- ▼依存財源
 国や都道府県から交付される補助金や事業を行うために借り入れる町債など。
- ▼地方交付税
 地方公共団体が必要な行政サービスを行えるように、その財政状況に応じて国から交付されるお金。
- ▼国・県支出金
 町が事業を行う場合に、国や県がその事業費の一部を負担したり、補助したりするお金。
- ▼町債
 町が施設の整備を行う場合などの財源として長期的に借り入れるお金。
- ▼繰入金
 ほかの会計や基金(町の貯金)などから受け入れるお金。
- ▼義務的経費
 歳出の中で支出が義務付けられていて、任意に削減できない経費のこと。人件費、扶助費、公債費がある。
- ▼投資的経費
 施設や道路など将来に残るものを作るために支出される経費のこと。
- ▼扶助費
 社会保障制度の一環として、各種の法令(障害者総合支援法、児童福祉法など)に基づき支出される経費のこと。
- ▼繰出金
 ほかの会計へ支出される経費のこと。

特別会計の主な業務内容

- 土地取得特別会計
 町の事業で使う土地を事業実施に先行して取得するための会計で、光の森公共用地取得の際に借りた町債の返済(約1億8千円)と土地の管理を行います。
- 国民健康保険特別会計
 町債の平成25年度末現在高見込み額は、5億334万円です。
- 国民健康保険特別会計
 74歳までの農業・自営業・退職者などの保険給付や、特定健康診査などの事業を行います。
- 主な財源は、加入者に納めていた国民健康保険税や国・県からの支出金などです。

介護保険特別会計

- 介護保険特別会計
 高齢者の介護に関するサービス給付などを行います。
- 主な財源は、40歳以上の人に納めていた介護保険料や支払基金交付金、国・県からの支出金などです。

後期高齢者医療特別会計

- 後期高齢者医療特別会計
 75歳以上の人から納めていた保険料を、医療給付を行う熊本県後期高齢者医療広域連合へ納付します。
- また、健康保持増進事業を行います。

平成25年度の主な事業

土木費	
鼻ぐり井手公園拡張整備事業	2億6,800万円
杉並木公園駐車場拡張整備事業	1,909万円
道路の新設改良	2億5,610万円
道路の維持管理	8,343万円
土地区画整理事業	2億4,984万円
公園の維持管理	6,213万円
町営住宅の維持管理	1,008万円
町営光団地建設(第3期)	1億5,224万円
下水道事業会計繰出金(公共分)	4億6,955万円

消防費	
消防団関係費	4,910万円
消防防災施設整備事業	1,100万円
災害時備蓄事業	54万円
菊池広域連合負担金(消防費)	3億 541万円

教育費	
中学生海外派遣事業	436万円
外国青年招致事業(2人)	1,111万円
特別支援指導助手各種非常勤講師等の活用	8,175万円
学校関係備品購入(教材、管理、給食用)	2,370万円
各小中学校改修工事等	851万円
菊陽中部小学校改築事業	8億8,505万円
菊陽中学校増築・改修事業	3億8,570万円
武蔵ヶ丘中学校改修事業	3,523万円
幼稚園就園奨励補助	5,793万円
生涯学習の推進(施設の運営含む)	2億 457万円
総合体育施設基本構想	350万円
図書館の運営(ホール運営含む)	8,734万円
図書館ホール自主文化事業	448万円

公債費	
元金	9億1,533万円
利子	1億7,213万円

国の緊急経済対策に伴い、平成24年度3月補正予算に前倒しで計上した主な事業

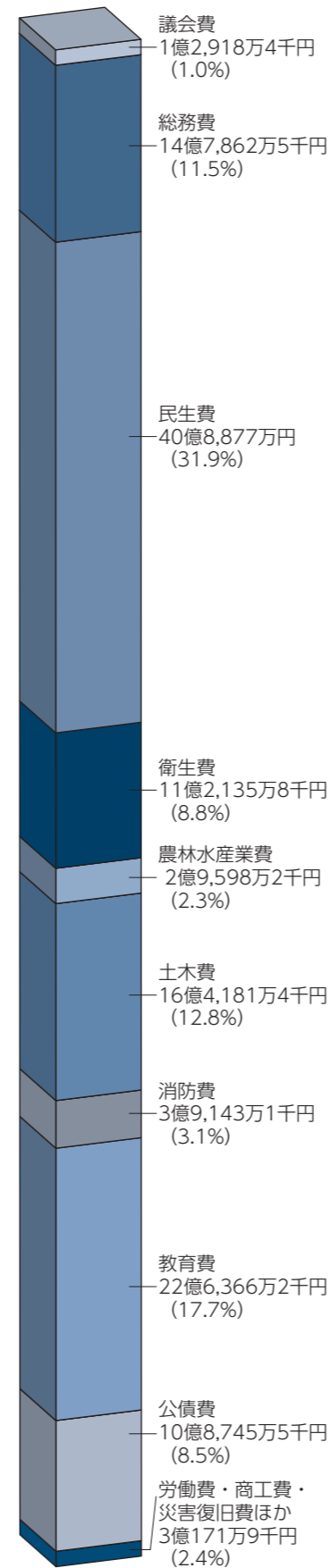
総務費	
(仮称)菊陽町の森複合施設建設事業	4億9,201万円

農林水産業費	
団体営農業水利施設保全合理化事業(上井手・下井手など)	1,357万円
団体営農業基盤整備促進事業(津久礼井手・深迫ダム改修)	315万円
強い農業づくり交付金事業(JA人参選果施設改築支援)	2億6,713万円

土木費	
町道路面性状調査事業	1,558万円
八久保1号線他道路改良事業	7,215万円
ひかりの森公園遊具等設置事業	2,000万円

教育費	
菊陽中部小学校改築事業	2億2,091万円
菊陽中学校増築・改修事業	1億6,757万円
武蔵ヶ丘中学校空調設備設置事業	7,857万円

目的別経費のグラフ



議会費	
議会運営に係る費用	1億2,918万円

総務費	
自治会関係事業	5,760万円
広報さくようの発行	687万円
スクールパトロール事業	600万円
交通安全対策事業	1,219万円
防犯灯設置事業	885万円
地域公共交通事業(町内巡回バスなど)	4,365万円
電子計算システムの運用管理	1億1,699万円
役場庁舎管理費	3,933万円
消費者行政活性化事業	108万円
土地取得特別会計繰出金	1億7,722万円

民生費	
障害者福祉費(総合支援費他)	5億8,555万円
高齢者福祉費	2,206万円
放課後児童健全育成事業(学童保育)	4,520万円
菊陽西小学校学童保育施設建設事業	4,326万円
児童手当	9億3,333万円
保育所運営費(公立8園)	6億6,795万円
公立保育所運営費負担金(広域入所分)	313万円
私立保育所運営費負担金(5園)	5億1,132万円
家庭的保育事業(保育ママ)	1,345万円
待機児童支援助成事業	695万円
国民健康保険特別会計繰出金	2億8,693万円
介護保険特別会計繰出金	2億9,934万円
後期高齢者医療特別会計繰出金	6,796万円
県後期高齢者医療広域連合負担金	2億6,586万円

衛生費	
子ども医療費助成(中3まで)	1億8,000万円
妊婦健診(14回分)	6,136万円
予防接種費(インフルエンザ、子宮頸がん他)	2億2,207万円
各種検診委託料	5,417万円
菊池環境保全組合負担金(ごみ処理)	2億1,559万円
菊池広域連合負担金(し尿処理費)	3,620万円
菊池広域連合負担金(火葬場費)	457万円
ごみ収集運搬業務委託料	7,026万円
リサイクル奨励金 他	989万円
太陽熱温水器、太陽光発電システム購入補助	950万円

労働費	
勤労青少年ホーム、働く婦人の家運営費	549万円

農林水産業費	
農業振興費・畜産振興費	2,909万円
土地改良事業(農道等の整備他)	7,893万円
下水道事業会計繰出金(農集分)	6,818万円
さんふれあ駐車場整備工事他	4,238万円
町有林の管理	347万円

商工費	
商工振興費	4,002万円
セミコンテクノパーク水道維持管理負担金	367万円
企業誘致対策事業	1億6,989万円

目的別経費の内容

議会費

議会運営に必要な経費として1億2,918万4千円(前年度比55万6千円減)を計上しました。

総務費

人件費や自治会運営費、交通安全対策費などとして14億7,862万5千円(同6億2,156万7千円減)を計上しました。

民生費

障害者福祉や子育て支援、児童手当、保育所運営などの経費として40億8,877万円(同4億4,778万6千円増)を計上しました。

衛生費

子ども医療費や予防接種、各種検診、ごみ処理費、環境保全関係の経費として11億2,135万8千円(同7,209万3千円増)を計上しました。

労働費

「勤労青少年ホーム」と「働く婦人の家」の運営に必要な経費として、549万3千円(同855万7千円減)を計上しました。

農林水産業費

農業や畜産、林業の経費として、2億9,598万2千円(同3,317万2千円増)を計上しました。

商工費

商工振興や企業誘致、観光費として、2億1,196万2千円(同5,927万6千円増)を計上しました。

土木費

道路や公園、町営住宅の整備や維持管理による経費として16億4,181万4千円(同5,338万3千円減)を計上しました。

消防費

消防関係負担金や消防団関係、消防施設費用として3億9,143万1千円(同1億2,143万1千円)を計上しました。

教育費

小中学校の運営や生涯学習、図書館などの経費として22億6,366万2千円(同9億7,777万7千円減)を計上しました。

災害復旧費

農地の災害復旧と農業用施設の災害復旧費として5,126万3千円を計上しました。

公債費

町債の返済費用として、10億8,745万5千円(同6,831万3千円減)を計上しました。町債残高は、平成25年3月末で約133億1千万円です。

緊急経済対策への対応

今回の予算編成にあたっては、政権交代後の国の「15か

月予算」の考え方のもと、国の緊急経済対策に対応するため、当初予算に計上する予定であった事業を平成24年度3月補正予算に計上しています。具体的には、前ページ「平成25年度の主な事業」右下にあるように(仮称)菊陽町の森複合施設建設事業や小中学校の増築改築事業、道路新設改良事業の一部などを前倒しで計上し、今回の緊急経済対策を最大限活用するため、予算の確保を行いました。

なお、(仮称)菊陽町の森複合施設については、平成26年秋の利用開始を目指し、事業を進めます。

	収益的収支	資本的収支
事業収益	12億0,729万2千円	資本的収入 3億0,807万1千円
事業費用	11億3,714万1千円	資本的支出 8億1,166万2千円

※資本的収支の不足額は、平成25年度損益勘定留保資金(収益的収支の事業費用のうち現金の支出を必要としない減価償却費などの費用)などで補填します。

下水道課 ☎(232)2164

下水道事業会計予算

下水道事業(公共下水道事業と農業集落排水事業)については、「地方公営企業法」を適用(財務規定等)した会計処理を行っています。

▶公営企業会計は、収益的収支と資本的収支に分けて会計処理を行います。▶収益的収支は、下水道事業を運営するための経営活動に要する経費とそのための財源です。▶資本的収支は、下水道施設の建設や改良などに要する経費とそのための財源です。



▲菊陽中学校増築・改修事業完成イメージ図

問 財政課 財政係
☎(232)2111